

## その他の調査結果 (案)

### 1. 目的

本調査は、各モデル地域で懸念されている事項や、クリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と合わせて、漂流・漂着ゴミ削減方策を検討する上で必要な事項について調査・検討することを目的とする。

### 2. 調査内容

本他調査は、表 1 に示す 9 項目の調査から構成されている。

表 1 その他の調査の概要

調査名称	概 要	資料No.
①漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査	数値シミュレーションによる漂着経路の把握及び標識放流による漂着割合把握に係る調査を行う。	6-1(1) 6-1(2) 6-1(4)
②医療系廃棄物等に係る実態調査	我が国で使用されている医療器具の生産国や輸入の状況、処理の実態を把握し、発生源の検討を行う。また、近隣諸国における医療系廃棄物の管理実態等についても調査する。	6-2
③観光資源価値向上の検討に係る調査	ゴミの回収により観光資源の価値が向上するものとの基本認識に基づき、ゴミ回収による潜在的な経済価値向上効果を把握する。	6-3
④微細なプラスチック破片による生態系への影響調査	微細なプラスチック破片による海岸生態系及び海洋生態系への影響について知見を整理し、その分布及び影響の実態を把握する。	6-4
⑤定点観測調査	各モデル地域において高頻度の定点観察を行い、漂着状況を経時的に把握する。また、赤川を対象に流下するゴミの種類判別と個数計測を行う。	6-5
⑥漂流経路把握調査	伊勢湾における漂着経路を検討するため、三重県の 4 河川の河口部から流出するゴミの漂流経路を把握する。	6-1(3)
⑦国内向け及び海外向け広報活動の検討	国内で実施されている漂流・漂着ゴミに係る広報活動の実態と、効果的な広報活動に係る要因・要素を把握し、国内向け及び海外向けの広報活動を検討する。	6-6
⑧流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)開催の検討	河川流域における NGO/NPO 及び自治体が一同に会し情報交換をする場の設置可能性について検討し、H20 年度に「流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)」を開催する。	6-7
⑨河口域及び海域におけるゴミ回収方法等に係る調査	国内の河口域・海面の浮遊ゴミ及び海底ゴミの回収に係る手法、制度等の実態を把握する。	6-8